

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行います。
受講希望者は、直接会場までお越しください。

記

講師：愛知学院大学 歯学部 歯内治療学講座
教授 諸富 孝彦 先生

演題：臨床から研究へ・研究から臨床へ
ー臨床医はどのように研究へと向き合うべきかー

日時：令和7年3月6日(木)17:00~20:00

場所：特別講堂 (歯学部事務棟4F)

抄録：根管治療は高頻度歯科治療のうち、特に再発率が高いことが知られています。狭く暗く、唾液と共に多種多様な微生物が存在する口腔内で、複雑な形態を有する歯髄腔の感染源を除去することは、容易なことではありません。私が根管治療の難しさを知ったのは卒前臨床実習の場でした。素人同然の学部生の目に、他院での処置のうち学部で学んだ内容と最も乖離していると感じられたのが根管治療でした。GPを目指していた私は、「まずは根管治療をマスターせねば」と保存科の門を叩き、気づけば四半世紀あまり歯内療法に関する研究に関わってきました。本大学院講義では、歯の発生に始まるこれまでの私の研究内容とその変移を紹介するとともに、研究など念頭になく些か間違った目標を胸に大学院へ進学した私が如何に研究を進め、その重要性和面白さに気づき現在に至るのかについてお話ししたいと思います。

連絡先：川島 伸之 (歯髄生物学分野 内線 5494)

e-mail: kawashima.n.endo@tmd.ac.jp